

本巣市立根尾学園で防災講座を行いました

令和4年12月22日（木）、今週降った雪が残る、本巣市立根尾学園で7～9年生12名に防災講座を行いました。全校生徒42名の小さな学校で、学校の近くには根尾西谷川が流れています。この地域では、平成30年7月豪雨の際、数日間の停電を経験したそうです。

講座では、9.12豪雨や平成30年7月豪雨など、岐阜県で発生した水害を中心に学習した後、VRで浸水を疑似体験し、また、デジタル展示館や近年の豪雨災害記録集「自然に学び、自然に備える」を活用して、過去の災害について調べ学習をして頂きました。「家族と避難について話し合ったことがありますか？」という質問には、12名全員が「ある」と回答しており、防災への意識の高さがうかがえました。

講座を通して、生徒からは、「改めて水害は怖いと思ったので、まず避難することを心がけたい。また、みんなにも避難を呼びかけていち早く行動したい。」「すぐに判断して行動するのは難しいので、もしもを考えて対策できることはしておきたい。」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は、CCNet（ケーブルテレビ）で地域に発信されました。



根尾谷断層



根尾学園